

標 題： Mediterranean diet, antioxidants and cancer: the need for randomized trial
地中海食事、抗酸化物と癌：ランダム化試験の必要性

著 者： M. A. Martinez-Gonzalez, et al. (スペイン ナバラ大学 医学部
疫学、公衆衛生学科)

掲 載 誌： Eur. J. Cancer Prev. 13: 327-335 (2004)

要 旨： 栄養疫学で、伝統的な取り組みは単一の栄養素または食品項目を評価した。
現在、食事パターンに関心が高まっている。
食事全体を取り上げる食事パターンの研究は、必要で補完的な方法を意味する。
事前に定義されたパターンの中で、とても美味しい伝統的な地中海食事は、
癌の食事予防で最初選ぶものとして多くの選択肢を有する。
しかし、最も多い癌を予防するその能力に関する正当な疫学的証拠は乏しい。
大規模でよく計画されたコホート研究と併用して、単に抗酸化物を栄養補給する
のではなく、食事全体の取組みを用いるランダム化試験が地中海諸国で必要で
ある。

キーワード： 生態学的錯誤、フラボノイド、低脂肪食事、1価不飽和脂肪、オリーブ油、
ポリフェノール、残留交絡
